

平成22年度  
第4回 温海地域審議会  
会議録（概要）

期日：平成22年11月18日（木）

場所：鶴岡市温海庁舎 6階大会議室

## 平成22年度 第4回温海地域審議会 会議録

- 期 日 平成22年11月18日(木) 午前9時30分～
- 場 所 鶴岡市温海庁舎 6階大会議室
- 出席委員 本間文夫委員、佐藤重夫委員、本間澄男委員、本間満委員  
柴田実委員、三浦仁委員、三浦哲哉委員、佐々木真人委員  
榎本五郎治委員、佐藤美代子委員、五十嵐英夫委員  
鈴木義一委員、斎藤徹委員、佐藤容介委員
- 欠席委員 齋藤守峰委員、五十嵐孝昭、五十嵐良介委員、五十嵐安貴委員  
劔持孝一委員、五十嵐淳子委員
- 市側出席者  
〈温海庁舎〉  
支所長 五十嵐收一  
総務課長 伊藤彦市、市民福祉課長 五十嵐金悟、税務市民主幹 本間敏廣  
観光商工主幹 粕谷一豊、建設環境課長 庄司又兵衛  
教育課長 鈴木金右エ門、総務課課長補佐 富樫達男  
産業課農山水産主査 五十嵐勇一、総務課総務地域振興主査 三浦市樹  
総務課総務地域振興主査 白幡俊、総務課調整主任 本間克秀
- 〈本 所〉  
企画部長 小林貢、市民生活課コミュニティ主幹 富樫栄一  
調整課長 永壽祥司、企画調整課係長 佐藤豊、市民生活課係長 清野健  
地域活性化推進室係長 粕谷一郎 地域活性化推進室主任 飯野剛
1. 開会(午前9時30分)(総務課長)
  2. 会長あいさつ
  3. 支所長あいさつ
  4. 報告事項(議長:本間文夫会長)

○本間文夫会長 それでは4番の報告に入らせていただきます。(1)鶴岡市総合計画実施計画について説明してください。

(企画調整課佐藤係長より説明)

○本間文夫会長 質疑に入ります。榎本五郎治委員お願いします。

○榎本五郎治委員 39ページの環境に配慮したエネルギーの活用促進がありますが、この地域に日本海から吹き付ける風には相当な風力があるので、風力発電をどこかに設置して観光産業と連動させるような考えはいかがでしょうか。

○佐藤係長 現在、本市のクリーンエネルギー全般の基礎的な調査に取り組んでおります。風力発電もその一つで、鶴岡市でどのくらい風力発電が可能なのか、どういった課題があるのか、調査検討を進めております。本市では風力発電のガイドラインを明確に定めておりませんので、その調査検討を踏まえて、来年度以降に本市としてのクリーンエネルギー導入の方向性を示したビジョンを作成したいと考えております。

○本間文夫会長 ほかにございますか。齋藤徹委員お願いします。

○齋藤徹委員 31ページの過疎地域における集落活動などへの支援の仕組みづくりに集落支援員の設置がありますが、具体的な内容の説明をお願いします。

○飯野主任 集落に外部から人が入り、集落の草刈りですとか、用水路の管理など困っていることに対して何らかの協力ができないかということで、支援員を派遣したいと考えております。

○齋藤徹委員 これは市で設置して支援する形ですか。

○飯野主任 これから調査しますが、派遣しますというよりは、困っている集落にお聞きしながら必要であれば派遣したいと考えております。

○本間文夫会長 ほかにございませんか。榎本五郎治委員お願いします。

○榎本五郎治委員 越路から峠ノ山に越える道路が法務局の図面に記載されていない経緯について、もう1点は間伐事業と相まって漁礁を作った経緯がありますが、その反響と追跡調査、今後の間伐材を利用した漁礁の構想についてお聞きしたい。

○五十嵐主査 林道西山線は林道として開設したもので、今のように土地を買収して開設したのではなく、地権者・受益者の皆さまから土地を協力していただいたので、名義もそのまま字切図には法線が入っておりません。去年までは間伐材を組んで漁礁を沈めておりましたが、設置するのは漁業者ということで非常に難しい点があつて、去年からは1本のままで6本ほど沈めております。その後の追跡調査はダイバーに依頼し、魚が付いているという報告を受けております。

○榎本五郎治委員 道路を公図に入れる方向性をお願いします。

○本間文夫会長 要望として受け取ります。ほかにございますか。ないようですので次に入ります。(2) 鶴岡市過疎地域自立促進計画について説明してください。

(地域活性化推進室飯野主任より説明)

○本間文夫会長 それではただいまの説明に対して質疑に入ります。ご質問ある方お願いします。柴田実委員お願いします。

○柴田実委員 2ページの地域交通確保と高齢者の生活交通支援の項目について、JRあつみ温泉駅と地元のバス会社とのつながりがなく、列車が来てもバスがない状況が多いのはなぜか。除雪対策ですが、温海地域では県道と国道の除雪方法の違いはあるのでしょうか。345号線はロータリー車、県道はブルドーザーですか、除雪車の違いです。また、台湾や中国などからのインバウンドのお客様は雪を見に来ます。ひとつの目玉商品なので、住民やお客様が歩くところをもっときれいに除雪していただきたい。

○総務課長 JRとあつみ交通の連結の関係については調査いたします。

○建設環境課長 国と県の除雪の仕方ですが、正直申し上げて違いがわかりませんので、後ほど調査して報告いたします。

○柴田実委員 実は345号線と県道余温線を調べました。345号線だけのロータリー車が槇代まで来ていました。ぜひ、調べていただきたい。

○本間文夫会長 ほかにございますか。齋藤徹委員お願いします。

○齋藤徹委員 2ページの地域交通確保と高齢者の生活交通支援に、地域に適合した交通手段の導入と高齢者のバス交通利用者への支援があります。当地域は中央に買物するにもかなり不便な地域です。私もスポーツクラブで中央にお年寄りを集めた健康づ

くりをしたいので、1箇所の人を集めようと地域を回りますと2時間以上かかります。そういう部分で苦慮しています。そこで福祉バス等の緩和、当地域に適合した交通手段、お年寄り等を集める形を今後検討していただきたい。

○**総務課長** スポーツクラブの事業というよりも、高齢者を一定の地域に集める場合の手段というとらえ方だと思います。それには公共交通の利用、今年であれば高齢者に対して支援しております。福祉バスの利用に関しては法的なこともあり、検討させていただきます。

○**本間文夫会長** ほかにございますか、本間澄男委員お願いします。

○**本間澄男** 先日の市長と語る会で市長さんがシルクと養蚕についてお話をしていました。温海地域でも以前は養蚕をやっていたので、遊休農地の利用とかお年寄りの生きがいの養蚕であれば、ある程度取り組める方もいると思います。産業としての養蚕をこの計画に盛り込む段階で、どのようなビジョン・考え方をもっているのでしょうか。桑を生産していた畑が温海地域にもあり、現在も活用できる畑もかなりあると思います。例えば誰かが蚕を飼えば、桑ぐらいは生産する方がいると思います。温海地域ではお年寄りなら取り組めると思います。

○**企画部長** このプロジェクトは基本的に本所の中の関係課、企画とか商工とか農林とかを中心に、各種と連携しながら進めているプロジェクトです。鶴岡市では養蚕をしているのは1件だけのようです。養蚕と農業の両立は産業面ではかなり厳しいと考えております。温海地域でもかつて盛んに行われていたお聞きしております。いろんな方々が生業というよりは、地域の文化なりボランティア的な活動、そういう展開を中心に検討しております。その一つの取り組みが繭人で、今の子供たちは繭自体を見たことがないので、そういった取り組みから始めております。桑の生産には農薬とかいろんな問題があって、どこでもできるものではないものですから、今お話にあったようにかつて温海地域でということもあるようですので、生業ではなくて桑の生産のできる人的なネットワークとか桑の生産の総合的な方向性を検討して、このプロジェクトを進めてまいりたいと思っております。ぜひいろんな情報を教えていただいて、このプロジェクトに組み込んでまいりたいと思っております。

○**本間文夫会長** 次に本間満委員お願いします。

○**本間満委員** 鼠ヶ関港の出荷場も進み、来年の3月に完成しますが、その後の販売等様々な問題に対応するためのブランド化にも取り組んでいます。そこで、子供が魚をおいしいと食べられるように、地元の魚をもっと給食に使い、併せて地域漁業の活性

化を図っていただきたい。今の親たちには魚を料理できない人が多いので、子どもたちが魚を食べないのが実態だと思います。給食への使用割合が今までどのように推移され、今後どのように発展させていかれるのか、参考にお聞きします。

○**教育課長** 魚に限らず野菜等についても、地産地消の観点から本市では給食にいかにして地元の産品を使っていくか検討しております。野菜等の使用率は年々上がっております。魚についても温海は他の地域よりも使っておりますが、まだまだその使用率は低い状況にあります。由良の加工所を介して使っていますが、給食の献立は何ヵ月も前から決めているものですから、この時期にこれだけの量は難しいということもあり、主に加工品を使っていますが、より給食に使えるような開発をお願いしています。今後、検討委員会等において使用率の向上に向けて検討を進めてまいります。

○**本間文夫会長** 本間満委員お願いします。

○**本間満委員** 高齢者の支えあいについてです。地域では、どこの集落も人口が減り、結婚する人が少なく、子供が生まれないのが現状です。また、年寄り一人とそこの長男が一人とか、年寄り二人しかいないような家庭もたくさん出てきています。地域の自治会も当然支えあいをしていかなければなりませんけれども、鶴岡市には老人ホームが足りないと思います。温寿荘であれ鶴岡の施設であれ順番待ちが何百人もいるという現状です。民間の施設もできていますが、民間施設と市の施設では全然違います。もう少し市の施設を充実させて、地域の人が安心して老人を預けて、若い人がどんどん働ける体制を作るべきだと思います。今後施設を拡充する予定があるのかお聞きします。

○**市民福祉課長** 介護の予防連絡協議会とか地域包括センターの連絡会議等々で、先般も今の問題などが議論されました。市全体では1200人くらいの待機者がいるようです。来年度、第五次介護予防計画を作成する予定で、介護施設整備にかかる国の基準もいろいろ緩和されており、鶴岡市として施設の拡充なども含め計画作成段階で議論されると思っております。

○**本間満委員** 今、国でもかなり介護に力を入れているようなので、鶴岡市もそれに沿って力を入れて、安心して介護される、安心して人生を送れるようにしっかりと検討していただきたいと思います。

○**本間文夫会長** 佐藤重夫委員お願いします。

○**佐藤重夫委員** 過疎地域対策は今までも温海・朝日の中で進めてきたわけですが、こ

れからさらに6年間、平成27年度まで朝日・温海地域を重点地域として進める大変大事な計画です。今後の進め方や窓口など、地域でどのような説明をしながら進めていく予定でしょうか。

○**企画部長** この過疎計画には国の定めがありまして、この12月の議会で議決をいただいて計画として実行できることとなります。今年度は残り3ヵ月ですから、新たな施策の実施は難しいと考えております。計画には産業振興から社会基盤整備あるいは集落維持活性化のソフト事業と、いろいろなものが入っております。この計画全体について住民の皆さまに直接ご説明をすることは今の時点では特段考えておりませんが、4点目の集落の再生活活性化は各集落の皆さんから主体的に考えていただいて、行政がそれに支援する、外部からいろいろな人材・ノウハウを導入することになりますので、内容をさらに詰めて、コミュニティの再生、コミュニティ関係の調査との整合性を図りながら、地域に必要な説明に入っていきたいと考えております。

○**本間文夫会長** 三浦仁委員お願いします。

○**三浦仁委員** 2ページ目の地域医療の確保について、移動手段を持たない高齢者の通院対策は地域の大変な問題だと考えています。かかりつけ医の定着でこれを解消していくように文面からは解釈されますが、身近な地域医療の確保・充実を図ることと併せて具体的にどんな考え方で進めていくのでしょうか、とくに温海地域には専門医がないわけで、すべて旧鶴岡市内に行かないと専門医に見ていただけません。その辺を含めてお聞きします。

○**企画部長** 高齢者の通院の足の確保ですが、朝日地域には国保診療所までの巡回という対策があり継続することになっております。温海地域は鶴岡市街地の専門医やかかりつけ医への通院が多いと思います。この足の確保は基本的に345号と7号のバス路線の維持で、赤字運営のため市から多額の補助をしております。本市としては路線維持を図る支援を継続したいと思っております。また、今年度から高齢者いきいきパス券に市が半額支援して、年間3万円で利用できる措置をしております。これにつきましても、この過疎計画に位置づけて、この制度を継続したいと思っております。地域交通のあり方については、それぞれ条件が全部違っており、平野部と中山間、同じ中山間でも朝日と温海というのはそれぞれ違っております。温海地域に一番合った交通のあり方を、今年度市全体の交通のあり方の調査を行っておりますので、その中で検討しております。スクールバスとかあつみ交通、公共交通とのあり方、それぞれ別々になっているものを、一体的なものとしてより利便性を高めていくかも課題になっております。温海地域庁舎とこれから議論しながら温海地域の足をどう確保するかにつきましても併せて検討したいと思っております。

○本間文夫会長 本間満委員お願いします。

○本間満委員 自主防災活動の促進と孤立集落への支援、自主防災組織と消防団の連携がありますが、温海地域では若い人がいないので消防団員を集めるにも大変だと言われています。名簿上は定員になっているが、住所をおいて何年も来ないような人たちも名簿に入っている集落がいくつもあると聞いています。消防団を退団した人でもいいので、自主消防と連携を取りながら、組織編制替えをすべきだと思います。地域の消防のあり方、若い世代を把握しながら組織固めをしていただきたいと思います。

○総務課長 消防団員の関係でとくに今問題になっているのはほとんどが勤務の関係で日中不在がちなことで、それに対しては消防団の協力員制度を設けて、消防団OBが協力員に決まった後に訓練を行い、いつでも駆けつけることができる体制をつくっております。また、併せまして自主防災会等の連携は当然ながら必要なことですので、自主防災組織のあり方についても指導していきたいと考えております。

○本間文夫会長 佐々木真人委員お願いします。

○佐々木真人委員 5 ページの地域を支える人的ネットワーク形成でお聞きします。U I J ターンはどのようなものか、また、受け入れ体制の整備、どのようなことを考えているのでしょうか。分散会でも話題になりましたが、空家問題、一人暮らしとかこれからどんどん増えていくわけです。団塊の世代で温海温泉に帰って来られた組が 1 組ありまして、その活動が活発です。小国の楯山荘とか、いろんな施設にほかの地域から来ると活性化といいますか、違った活動が出てきます。これをどのように進めるか、温暖な紀伊とか和歌山とか、U ターンの盛んなところがありますが、その条件と比べると大分厳しいと思っています。福島の方では相当な金額を投資して若者を誘致する活動をしていますが、それも活性化に結びつける大きな力になると思います。その辺をどのような進め方をされるのかお聞きします。もう一つは休耕地への協力隊というか、収穫がある畑作りも結構人気があると思いますので、平成 23 年度には鶴岡と温海が高速道路でつながるわけですから、遠くの方だけでなく、鶴岡市の中での温海・朝日との交流も考えていただきたい。以上 2 点です。

○飯野主任 U I J ターンですが、U ターンだと地元の方が帰ってくることで、I ターン J ターンは外部の方が来ることで、I だとまっすぐ入って来られるという意味です。鶴岡市では I J ターンの受け入れ体制が整っていないので、地域活性化の面から受け入れられる体制づくりの調査から始めたいと思っています。外部の方々と交流することによって、外部の方々から鶴岡や温海はいい所だと知ってもらいたいことも含めて、



交流を盛んにしたいと考えております。昨年度から空家調査をしています。まだ使えそうな空家もあるようで、使える空家をどのように活用するか、民宿としての使い方もあるでしょうし、活用の仕方を検討してまいりたいと考えております。

○本間文夫会長 これ、2番目の過疎地域自立促進計画については閉じらせていただきます。次に(3)地域コミュニティ実態調査の実施状況と課題について説明をお願いします。

(市民生活課コミュニティ主幹・温海庁舎総務課長より説明)

○本間文夫会長 ただいまの説明にご意見もあろうかと思いますが、総務課長から説明がありましたように、各地域の懇談会の場で反映していただくようにお願いします。

(4) その他

○本間文夫会長 その他についてございませんか。なければ以上4番目までの報告については終了いたします。公務のため本所の一部の職員につきましてはこれで退席します。ここで5分間休憩します。

## 5. 協 議

○本間文夫会長 審議会を再開し、5番の協議に入らせていただきます。これまで開催されました各分散会の報告を行います。

第1分散会(本間文夫会長報告)

第2分散会(佐藤重夫副会長報告)

○本間文夫会長 協議に入る前に事務局より説明があります。事務局をお願いします。

○総務課長 二つの分散会でみなさんの意見をまとめさせていただきました。不足な点、それから追加意見等がございましたらお願いしたいと思います。

○本間文夫会長 それでは皆さんいかがでしょうか、追加するところございませんか。齋藤徹委員をお願いします。

○齋藤徹委員 第1分散会の3ページ、4番目の下段ですが、「すでに、あつみスポーツクラブでは」とありますが、これは社会福祉協議会が行っている部分をスポーツクラブが人材派遣でお手伝いしているものです。このような形で取り組む場合に、先ほども申し上げましたように交通手段の確保が出来ない現状です。その辺をよろしく願

いしたいと思います。

○本間文夫会長 事務局で訂正してください。ほかにありませんか。佐藤容介委員お願いします。

○佐藤容介委員 日沿道の開通期日とその発表のタイミングの情報収集について、開通に向けたキャンペーンとかイベントに準備期間が必要ですし、夏と冬ではイベントやキャンペーンの内容も当然違ってきます。そのための情報収集をしていただきたい。また、開通前の高速道路等を利用して何かできないかも含めてお願いします。

○総務課長 イベントやキャンペーンに準備期間を要するために情報が必要だということで、要望として受け止めたいと思います。

○本間文夫会長 ほかにございますか。柴田実委員お願いします。

○柴田実委員 仮称あつみ温泉インターチェンジの名称は瀬波温泉よりも早い3年前から要望してきましたが、瀬波温泉は1年前に要望してこちらより早く瀬波温泉インターチェンジという名称が発表されました。瀬波温泉は平成22年度中の開通で、温海は平成23年度中の開通で瀬波温泉よりも遅いわけですが、同時発表できないものでしょうか。要望させていただきたい。

○支所長 要望といっても、瀬波温泉は既に発表されておりますので、今さら同時発表にはならないと思います。ご理解願います。

○本間文夫会長 時間になりましたが、ほかにございますか。なければ、これで終了いたします。事務局お願いします。

○総務課長 みなさんからたくさんのご提案をいただきました。誠にありがとうございました。今日の委員のみなさんのご意見と各分散会の提案を次の審議会までにまとめ、その提案については来年度さらに具体策を探っていきたいと思います。また、まだ言い足りない点もあったかと思いますが、1月頃に最後の審議会を予定しておりますので、提案等ある方は私どもに紙面で提出していただきたいと思います。

○支所長 いろいろな計画にご意見をいただきましてありがとうございました。地域審議会のまとめに関連して、先日の市長と語る会に出席された方は市長の話を聞いていたと思いますが、各地域で各地域審議会が定めたテーマに基づいてビジョンを提案していただきたいという話でございました。私どもとの質疑応答というよりこのテーマ

であればこういう方向の温海という話を市長はおっしゃっていたと理解していただきたいと思います。今日は時間がなくて話をする時間が少なかったわけですので、総務課長が申しましたとおり紙面での提案でも結構です。次回の今年度のまとめの会議に向けて提案をいただければと思います。

○本間満委員 要望ですが、早めに資料を送付していただき前もって見て、それに対して話し合いができれば良いと思います。よろしくお願いします。

○本間文夫会長 そういうことも踏まえまして、次回はよろしくお願いします。これで協議を終了します。今日はありがとうございました。

## 6. その他

な し

## 7. 閉会（午後 3 時 3 5 分）（総務課長）